

# 取扱説明書 (品番：PT5-X)

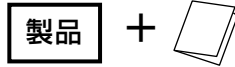
## アイドリングストップ車 対応タコメーター

### PROGAUGE

STEPPING DRIVE  
TACHOMETER  $\phi$ 52

この度は PIVOT 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
この取扱説明書はよくお読みいただき、ご理解のうえで装着・使用してください。  
なお、本書は大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書(本書)をお付けください。



## 目次

内容物・警告・注意 ..... 1  
 特長 ..... 1  
 各部の名称とはたらき ..... 1  
 配線接続方法 ..... 2  
 気筒数設定接続 ..... 3  
 製品の固定 ..... 4  
 基本動作 ..... 4  
 故障かな?と思ったら ..... 4

## 内容物をご確認ください



<p><b>警告</b></p> <p>右記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●換気の悪い場所で作業しない 排気ガス中毒や引火などで人体への危険があります。</li> <li>●コードの被ふくを傷つけない シートレール、ドアなどでコードの被ふくが傷付くと、ショート、接触不良などによる火災の危険があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バッテリーの○側を外して作業する ショートなどによる火災、破損事故の恐れがあります。</li> <li>●運転中に操作をしない 運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●製品固定や配線処理は確実に行う 製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。</li> </ul>
	<p><b>注意</b></p> <p>右記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エレクトロタップは使用しない 配線は付属のカットギボシまたは半田付けで行い、配線部は絶縁テープで確実に絶縁し、芯線などが突き出していないかをお確かめください。</li> <li>●DC12V車で使用する 本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。</li> <li>●加工・分解および改造をしない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●装着直後は製品に強い力を加えない 両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。</li> <li>●薬品類は使用しない ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。</li> </ul>

## 特長

本製品はアイドリングストップ後の始動時にオープニングデモを行わずにエンジン回転表示するタコメーターです。

### アイドリングストップ車にも対応

アイドリングストップ後の始動時にオープニングデモを行わずにエンジン回転を表示します。  
※アイドリングストップ車以外にも使用可能。

### スポーツからエコ走行まで

正確なエンジン回転チェックで、スポーツからエコ走行まで使用。

### 幅広い対応車

アイドリングストップ車を含む12Vの1、3、4気筒車対応。

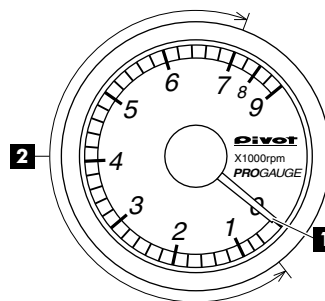
### 簡単装着

バンドホルダーで様々な場所に両面テープで簡単装着。

### LED透過照明

LEDによる見やすい透過照明。

## 各部の名称とはたらき



- 1 針**  
エンジン回転を表示します。
- 2 ワイドスケール表示**  
500~7000rpmの必要域を拡大して見やすくしてあります。
- 3 イルミ(夜間照明)**  
表示中イルミは常時点灯。(スモール運動はしません)

### オープニングデモ

オープニングデモのとき、針はマイナス方向に小刻みに複数回動きます。その後最大値を指し、回転表示に移行します。

# 配線接続方法

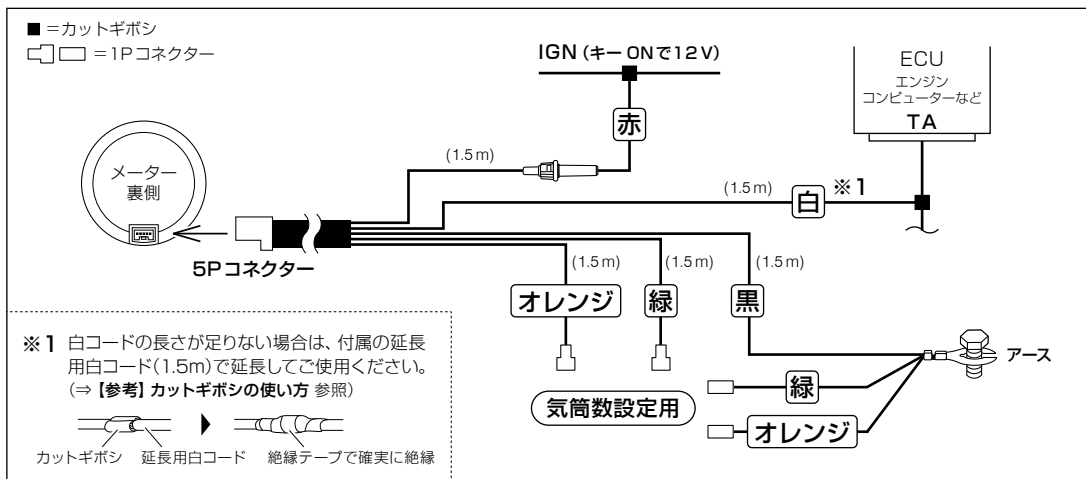
## 準備

作業を始める前に、取り付ける車種に対応した取付方法をご確認ください。

### 基本配線



基本配線後、車の気筒数に応じて「気筒数設定接続」(⇒3 ページ)を行ってください。



#### IGN

**赤** キースイッチ ON で+12Vの場所へ付属のカットギボンを使用し、接続する。

#### アース

**黒** アース端子付 アースが取れる金属部のネジに固定する。

●プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確実にアースの取れる場所で固定してください。

#### エンジン回転信号

**白** 別紙「配線一覧表」で位置を確認し、付属のカットギボンを使用して接続する。

配線一覧表

●接続は車輛側コードの指示された場所に行ってください。

#### 気筒数設定

**オレンジ** **緑** 気筒数に応じて1Pコネクターを接続する。(⇒3 ページ 気筒数設定接続 参照)

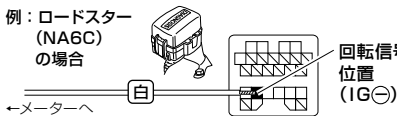
### ECUの回転信号に他の機種が接続されている場合

●両方接続しても正常に動作する  
▶ そのまま使用可能。

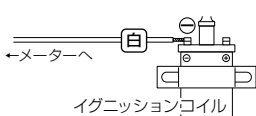
●動作しない、または不安定な動作をする  
▶ ECUの配線への接続をやめ、イグニッションコイルやダイアグノシスへの接続に切り換える。(下記参照)

### 回転信号をエンジンコンピューター以外からとる場合

#### ●ダイアグノシス (チェックコネクター) からとる場合



#### ●イグニッションコイルからとる場合



#### ●ダイレクトイグニッションコイルの点火信号からとる場合



上記の接続をして回転数表示が極端に少ない場合  
例: 6気筒車で純正タコメーターが3000rpmの時に500rpmを表示する。  
原因: 取り付けたクルマが独立点火式のため。

気筒設定数を「1」にします。  
⇒3 ページ 気筒数設定接続 参照

■ = カットギボン  
※気筒数設定を「1」にします。  
※点火信号の配線位置は車種によって異なります。

#### 【参考】カットギボンの使い方

1	10mm	2	10mm	3	4	5	※かしめる際は圧着ペンチを使用するか、ペンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。
接続するコードの被ふくをむく。	製品コード先端の被ふくをむく。	両方の芯線を絡める。	確実にかしめる。	ビニールテープで絶縁する。			

# 気筒数設定接続

準備

気筒数と信号レベルは、付属の「回転信号一覧表」をご確認ください。

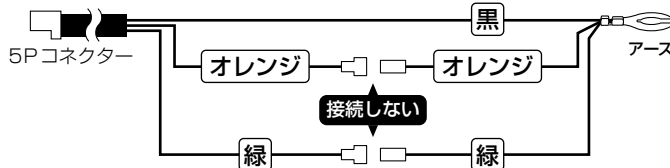
クルマごとの気筒数に応じて1Pコネクタを次のとおり接続します。

気筒数設定で使用するのは、**オレンジ**・**緑**コード2本（ボディアース）と、メーター本体からの**オレンジ**・**緑**コードの計4本のコードです。

□□ = 1Pコネクタ

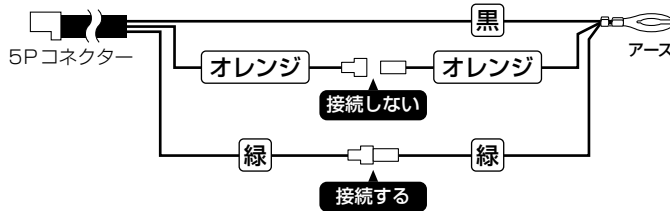
## 4気筒

1Pコネクタを接続しない。



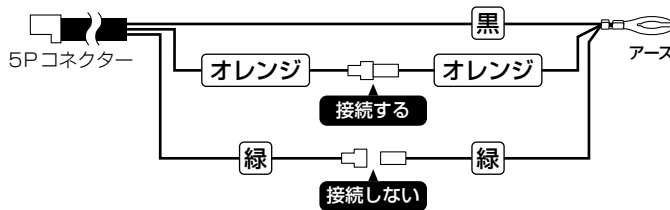
## 3気筒

**緑**コードの1Pコネクタのみ接続する。



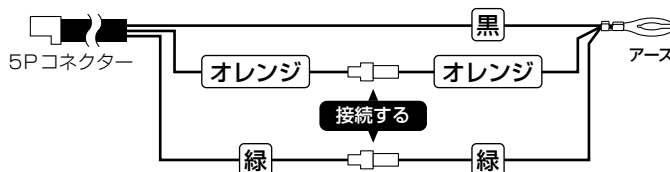
## 1気筒：信号レベル2

**オレンジ**コードの1Pコネクタのみ接続する。



## 1気筒：信号レベル1

**オレンジ**・**緑**コードの1Pコネクタを両方とも接続する。



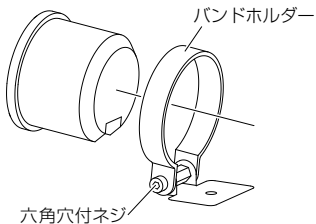
# 製品の固定

車内の見やすい場所へ取り付けます。

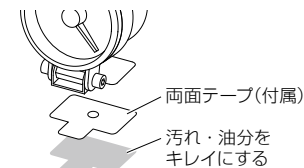
## A. バンドホルダーを使用する

強度のある場所に両面テープを使用して固定します。(コラムカバー上、ダッシュボード上など)

**1** ネジを少しゆるめ、メーターをバンドホルダーに装着する。

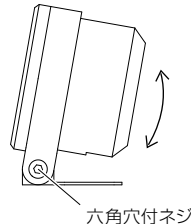


**2** 両面テープで固定する。(貼り付け部の油分や汚れは、キレイにする。)

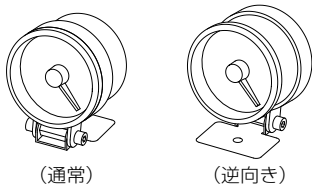


※粘着力が低下するため、貼り直しは行わないでください。

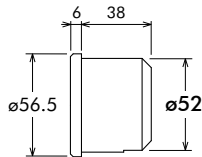
**3** 見やすい角度に合わせた後、ネジを固定する。



※ホルダーは、逆向きでも使用できます。

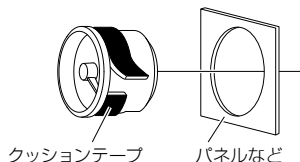


メーター寸法  
(mm)



## B. パネルなどに埋め込む

- メーターの根元にクッションテープを巻く。
- 直径52mmの穴に圧入状態で差し込む。



## 基本動作

エンジン始動から停止後までのメーターの基本的な動きです。

**1** キースイッチ ON  
(エンジン始動)



**2** オープニングデモ

**3** エンジン回転表示



※アイドリング  
ストップ時は  
0表示

**4** キースイッチ OFF  
(エンジン停止)

**5** メーター OFF



※特性上、針は  
OFF時の回転  
で止まり、0に  
は戻りません。

## 故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
オープニングデモを行わない。	各コードの接続または接触不良。	再度ご確認ください。
エンジン始動でオープニングデモは行いが、針が動作しない。	☒ コードの接続不良。	再度ご確認ください。
	気筒数設定接続が間違っている。	3ページ「気筒数設定接続」をご参照の上、確実に気筒数を合わせてください。
タコメーターの回転数が純正タコメーターと大きく違う。	気筒数設定の誤り。	3ページ「気筒数設定接続」をご参照の上、確実に気筒数を合わせてください。
パワーウィンドウのオート機能や各電子機器がリセットされる。	バッテリーのマイナス端子を外したことによる。	バッテリーのマイナス端子を戻し、車輛の説明書に従って再設定してください。

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。  
 ※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。  
 ※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。